施策名	目標 8-6 環境問題に関する調査・研究・技術開発	担当部局名	大臣官房 総合政策課 環境研究技術室
施策の概要	環境の状況の把握、問題の発見、環境負荷の把握・予測、環境変化の機構や環境影響の解明・予測、環境と経済の相互関係に関する分析、対策技術の開発など各種 の調査研究・研究開発を実施するとともに、研究開発のための基盤の整備、成果の普及により環境分野の研究・技術開発を推進し、環境問題の解決や持続可能な社会の 構築の基礎とする。	政策評価実施予定時期	政策評価実施時期 令和 7年 8月
達成すべき目標	環境技術の研究開発を進め、環境と経済の統合された社会の実現に寄与する。	政策体系上の 位置付け	8. 環境・経済・社会の統合的向上及び環境政策の基盤整備

施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの) (施政方針演説等のうち主なもの) (施政方針演説等のうち主なもの) 統合イノベーション戦略2024(令和6年6月4日閣議決定)3.(1)等

測定指標 測定指標	基準値		┃					F度ごとの目標( F度ごとの実績(					達成
次1人 1日 1水	<b>坐</b> 干爬	基準年度		目標年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	,	Æ/%
環境研究総 合推進費の 事後評価(5 段階)で上位 2段階を獲得			93%以上 (令和5年		70%以上	70%以上	70%以上	93%以上	-	-		環境研究総合推進費は、環境省における環境技術の研究開発の中核をなす競争的資金による予算であり、採択された個々の課題の成果 を上げることが、目標達成に寄与することになる。このため、研究開発の終了時に目標の達成状況や成果の内容等を把握し、その後の研究 開発発展への活用等を行うために実施している事後評価において一定の研究成果を上げることを指標としている。目標値の設定は、研究成	
1 した課題数 (上位2段階 の課題数/ 全評価対象 課題数)	_	-	度までは 70%以上)	各年度	47/48 (97.9%)	79/81 (97.5%)	95.2% (60/63課題)	96.1% (49/51課題)	_	_		·果に対する外部有識者委員会による肯定的な事後評価(5段階中上位2段階の評価の割合)を獲得する課題数の割合について、前中期目標期間実績平均値と同程度を確保(R6年度より第5期中期目標期間となるため、前中期目標期間実績:平均93%)とする。 ※前中期目標期間:令和1年度~令和5年度 第5期中期目標期間:令和6年度~令和10年度	
環境保全研究費補助金 (イノベーション割出のための環境スタートアップ研究開発支援択る			80%	各年度	_	80	80	80	80	80	_	イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業では、持続可能な社会の実現に向けた現状とのギャップを埋めるイノベーションの創出を目的とし、イノベーション創出の担い手として重要性が増すスタートアップを対象に、環境技術の研究開発・事業化の支援を行	
業者による本事業終における 事業終における 支援技術の 事業化に向けた研究開発 の継続割合 (単位:%)			30%	古 十 / 交	_	6/6 (100%)	8/8 (100%)	2/2 (100%)	_	_		う。そこで、本事業のうち環境保全研究費補助金によって事業化支援を行ったスタートアップに対し、年度ごとに本事業終了後1年後における 支援技術の事業化に向けた研究開発の継続確認を行い、本事業の成果の指標とする。	

達成手(開始年	·段 ·度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手 (開始年	<b>≐段</b> F度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段(開始年度	)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手 (開始年	-段 -度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手 (開始年	·段 ·度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号
(1)	環合(()技進13始※度究推球総をに度型推究を※配の成()生に境推境術費年)1に・進環合統、よ社進費統2分業29)保移研進研開は度 平「抜費境推合平り会科補合本・務年環全管究費発平か 成環備」研進し成循形学助。事契は度境機。総 ・推成ら 22研発地 13環成研金 業約、よ再構総・推成時 年研発地 ] の等平り	1	004998		(5)	熱中症対策 推進事業 (平成24年 度)		005680		(9)	国立水俣病 総合研究セン ター (昭和53年 度)		004984		(13)	気関パ(IPCC)書事の 動府 での 動府 での でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	_	004988		(17)			
(2)	環境研究·技 術開発推進 事業(平成18 年度)	1	004976		(6)	子どもの健康 と環境に関す る全国調査 (エコチル調 査) (平成22年 度)	-	004797		(10)	GOSATシリー ズによる地球 環境観測事 業 (平成18年 度)	-	004989		(14)	_	_	_		(18)	_	_	-
(3)	イノベーション 創出のため の環境スター トアップ研究 開発支援事 業 (令和3年度)		005649		(7)	水俣病対策 事業 (昭和48年 度)	-	004947		(11)	農薬環境 影響評価対 策費(平成19 年度)【関連 R5-11】	-	004822		(15)	_	_	_		(19)	_	_	-
(4)	環境リスクの 評価事業 (昭和49年 度)	-	004981	_	(8)	イタイイタイ病 等に関する研究・調査事業 (昭和47年 度)	-	004985		(12)	大気汚染防 止推進費(昭 和47年度)	-	004780		(16)	_	_	_	_	(20)	_	_	_
		(各行	政機関共通区	区分)									(2	②目標達成	<b></b> <b></b>			<u> </u>					
	目標達成度 合いの 測定結果		(判断根拠)		▪環境研	究総合推進費	事業において目 とめの環境スタ・ 事業及びイノベ・ なされたと考え	ーション創出	した。 究開発支援事 のための環境	業において ミスタートアッ	目標値を達成し プ研究開発支	<i>た</i> 。 援事業は測定:	指標において	目標値を	達成してお	り、達成すべき目	<b>]標「環境技術</b>	の研究開発を	⋭進め、環⅓	境と経済の	統合された社会	会の実現に寄与 <sup>·</sup>	する」へ、有
評価結果	目標達成が 出来なかっ た要因、そ の他施策の 課題等	_																					

次期目標等への	【施策】	<ul><li>●環境研究推進費事業</li><li>❷環境保全研究費補助金(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)</li></ul>										
反映の方向     性 	【測定指標】	の研究成果を上げることを指標とする。目標値の設定については、研究成果に対する外部有 (R6年度より第5期中期目標期間となるため、前中期目標期間実績:平均93%)とする。	可識者委員会による肯定的 ることが重要であるため、	に目標の達成状況や成果の内容等を把握し、その後の研究開発発展への活用等を行うために実施している事後評価において 内な事後評価(5段階中上位2段階の評価の割合)を獲得する課題数の割合について、前中期目標期間実績平均値と同程度を研 効果的な施策を実施し、引き続き環境保全研究費補助金(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)の								
	者の意見や技術的助言等に基 <sup>・</sup>	用状況> ては、外部有識者で構成される委員会等において事前・中間・事後評価を実施しており、外部有識づいて事業を実施している。イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業による事前・事後評価を実施しており、学識経験を有する者の知見の積極的な活用に努めている。	SDGs目標との関係	【主な目標】 環境研究総合推進費は、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施している。2023年度に終了した研究課題の環境への貢献状況について、関係課室に政策貢献アンケートを行ったところ(アンケート対象32課題)、IPCC第6次評価報告書や温暖化対策計画等に活用が実現できたと回答をいただいた。これにより、目標13番「気候変動に具体的な対策を」に貢献してイノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業では独自の技術シーズを持ったスタートアップ企業に対し開発の支援を行った。当該取組によって目標9番「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に貢献した。  【副次的効果が期待される目標】 環境研究総合推進費は、公募に際して、提案(研究課題)の採択においては、「環境研究・環境技術開発の推進戦略」で設定る研究・技術開発の課題(重点課題)の解決に貢献することを必須としている。【重点課題⑥】「気候変動緩和策」【重点課題「気候変動適応策」に資する課題の採択・実施により、目標13番「気候変動に具体的な対策を」に副次的に貢献した。【重点課題「気候変動適応策」に資する課題の採択・実施により、目標13番「気候変動に真体の対策を」に副次的に貢献した。【重点記②】「生物多様性の保全に資する科学的知見の充実や対策手法の技術開発」に資する課題の採択・実施により、目標14番「豊かさを守ろう」及び目標15番「陸の豊かさも守ろう」に副次的に貢献した。【重点課題⑥】「水・土壌等の環境管理・改善のた対策技術の高度化及び評価・解明」に資する課題の採択・実施により、目標6番「安全な水とトイレを世界中に」及び目標115み続けられるまちづくりを」に副次的に貢献した。 イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業では環境スタートアップ企業を対象に事業会社等が参加にデチイベントを開催し事業機会の創出を支援した。当該取組によって、目標8番「働きがいも経済成長も」への達成に副次的貢献した。								